

日本映画大学の卒業制作〈ドラマ／ドキュメンタリー〉は、
企画・脚本・キャスティング・ロケハン・リハーサル・撮影・ポストプロダクションなど、
制作の過程で数々の困難や失敗を経験しながら、学生主体で約1年かけて完成させたものです。
11年目となる今年度はドラマ2本・ドキュメンタリー3本の映画が完成しました。
映画を知り、人間を知る。4年間の集大成をぜひ劇場〈スクリーン〉で！

上映プログラム

12:00 入場整理券配付／12:30 開場／12:50 開映（終了17:16予定）／全席自由席・入れ替えなし・入退場自由



12:50 | 生きている

[ドキュメンタリー／36分／DCP]

農村出身の妻・衛淑芳^{ウェイシューファン}は、ALSを患う夫・楊天龍^{ヨウテンリョウ}と共に病室で寝泊まりけしながら、24時間体制で世話を続けている。夫の体を拭き、寝具を交換し、経鼻胃管で食事を与える毎日。しかし病状は進行し、楊は完全に身体を失う。医療機器に頼らなければ生きることができず、時に妻に対して怒りをぶつける。本作は中国・西安の病院の全面協力のもと、病氣と経済的な圧力に直面しながらも、互いの愛と強く生き抜こうとするALS患者の夫婦のリアルな実態を描く。



13:50 | ホール・イン・ハート

[ドラマ／31分／DCP]

高校二年生のナギの一番の親友は、ゆっこだ。ナギは中学生のときにゆっこから告白されていたが、何年もその気持ちに答えられずにいた。二人のクラスメイトの菜々子はゆっこのことが好きだった。けれど、ゆっこはナギのことしか見ていない。三人は微妙な関係を築いていたが、ある日突然、そのうちの一人がいなくなってしまう…。誰もが経験するであろう喪失と後悔、どうすることもできない思いを抱えながら、それでも前に進もうとする人々の姿を繊細に描く。



14:40 | 救火阿三

[ドキュメンタリー／41分／DCP]

中国浙江省のボランティア消防士・阮炳炎^{ゲンビンエン}。鶏や牛を飼育する普通の農民でありながら、40年以上にわたり消防設備や消火活動に私費を投じ、村の火災から多くの命と財産を守り続けてきた。三男であることから「阿三」と呼ばれ親しまれている。幼少期の火災経験と、7代にわたる消火活動を続けてきた責任感を原動力にする一方で、彼は不満を抱く家族との対立や後継者不在といった問題に直面する。共同体を必死に守ろうとする彼の日常を通し、現代社会に問いかけるものとは何か。



15:40 | 散り菊のころ

[ドラマ／31分／DCP]

主人公の野見庸太郎はもうすぐ還暦を迎える高校教師。人生の帰路に立つ彼は、仕事と家庭、どちらも思ったほどには上手くいっていなかった。ある日、風変わりな社会評論家の白巳龍彦と出会う。自分とは対照的で自由に生き方をしている白巳と分かり合えない主人公。互いの生き方に触れていくうちに、少しずつ考え方に変化が生まれていく。Z代の製作陣が60代の生き様に挑戦した本作。ユーモラスで魅力溢れるキャラクターたちから目が離せない。



16:30 | 晩夏ノ蟬

[ドキュメンタリー／43分／DCP]

中国貴州省に暮らす少数民族・侗族^{ドン}の伝統的な生活を追ったドキュメンタリー。時代の波に翻弄される家族を描く。自給自足の村で家族と共に暮らしていた夫は、生活費を稼ぐために妻と幼い子供を残して都会へ働きに出る。便利で華やかな都市の生活と、質素だが家族の絆が息づく村の生活。その狭間で夫婦はすれ違い、格差社会の現実と直面する。彼らの選択が家族にどのような未来をもたらすのか。変わりゆく時代の中で、家族、伝統、そして人生の意味を問いかける物語。

【会場】イオンシネマ新百合ヶ丘 入場無料

小田急線 新百合ヶ丘駅 南口下車すぐ 川崎市麻生区上麻生1-19-1 イオンスタイル新百合ヶ丘6F

※再入場の際は、入場整理券が必要となります ※座席の指定はございません ※初回開場時、ゲート前で整列入場にご協力下さい ※満席時は入場をお断り致しますので予めご了承下さい。また上映中の入場をお断りする場合がございます ※上映時間が前後する場合があります。予めご了承下さい ※ご不明な点は、以下お問い合わせ先へ、当日はスタッフへお尋ね下さい

主催 | 日本映画大学 お問い合わせ先 | chiiki@eiga.ac.jp

ご鑑賞には入場整理券が必要となります
6Fロビー上映会特設受付へお越しください

上映会ウェブサイト

www.eiga.ac.jp/sotsusei

上映会SNS



予告編・メイキング

